

2018年度

事業報告及び決算報告書

一般財団法人 北陸経済研究所

# 2018年度 事業報告

自 2018年4月 1日

至 2019年3月31日

## 1. 事業活動の概要

2018年度の日本経済は、前半は総じて緩やかな回復をしてまいりましたが、後半は米国と中国の貿易摩擦などを背景に、一部に弱い動きもみられるようになりました。内需の2本柱である個人消費と設備投資は持ち直しつつあり、雇用情勢も引き続き改善しております。北陸地域においても、同様に景気は緩やかに回復していますが、後半からは今後の景況感の後退を予想する企業も増えております。今後の懸念要因としては、10月に予定される消費税率引き上げの影響や英国のEU離脱問題など内外の政治・経済の動向、金融資本市場の変動などに留意が必要な状況にあります。

当研究所の業務運営につきましては、北陸経済の継続的な景気動向の把握に務めるとともに、経済環境の変化にスポットをあてた様々な分野での調査を行いました。また地域企業のIoT化推進に向けた支援活動、地方創生を推進していくための施策立案の基礎となる自治体からの各種受託調査、企業の人材育成ニーズにお応えする多種のテーマを設定したセミナー事業、役職員による講演・講義などを実施してまいりました。

以下、事業内容についてご報告いたします。

## 2. 研究所の体制

(1) 当研究所の職員数（出向者を含む・パートは除く）は、2019年3月末で14名となり、前年度末に比べて1名増加しました。

	2019年3月末	前年度末比
エグゼクティブフェロー	0名	△1名
特別研究員	1名	0名
部長	1名	0名
担当部長	1名	0名
総括研究員	1名	0名
主任研究員	5名	0名
研究員	2名	+1名
事務局長	1名	0名
事務局員	2名	+1名
合計	14名	+1名

(2) ご後援いただいております賛助会員の2019年3月末の状況は次のとおりです。

	賛助 会員数	対2018年3月末比			賛助 口数	対2018年3月末比		
		新規	退会	増減		新規	退会減口	増減
富山県	1,693	42	37	+5	2,061	42	44	△2
石川県	719	23	18	+5	812	23	18	+5
福井県	360	23	8	+15	400	23	8	+15
その他	38	0	2	△2	39	0	2	△2
合計	2,810	88	65	+23	3,312	88	72	+16

(参考) 購読会員は2019年3月末現在591先です。

(3) 基本財産は、一般財団法人への移行にあたり10百万円(大口定期預金)を設定しました(2012年3月29日開催の理事会、評議員会決議による)。以後変動はありません。

### 3. 調査研究事業

2018年度の自主調査研究は、「北陸の四半期経済速報(北陸のQE推計)」、「北陸の産業天気図」、「経営者の景気見通し」など定例調査のほか、産業構造の変化を克服する中小企業の姿や、AI、IoTなど先端テクノロジーの動向、観光産業あるいは地域資源活用に関する調査など、様々な分野にスポットをあてた調査を行いました。

このほか各大学などの研究シーズを紹介する「産学連携」コーナー、分析データを基にした「タイ経済最新情報」に加え、「経営コーナー」では確定拠出年金、ファンドの活用などをテーマに掲載をいたしました。

また、北陸の各産業界で活躍するトップリーダーを紹介する「トップインタビュー」に加え、エリーパワー株式会社 代表取締役社長 吉田博一氏との対談を企画・実施し、「人生百年時代の起業」と題して新春対談としてまとめました。

なお、調査・研究の具体的な内容は以下のとおりであります。

#### (1) 経済、産業、地域活性化に関する調査研究

掲載号	テーマ
5月号	・北陸の四半期経済速報(北陸のQE推計)
	・北陸の産業天気図
8月号	・経営者の景気見通し(北陸のBSI)
	・構造不況の克服に向けた北陸の中小企業の行動をみる
9・10月号	・北陸の四半期経済速報(北陸のQE推計)

掲載号	テーマ
11月号	・北陸の四半期経済速報（北陸のQE推計）
	・北陸の産業天気図
12月号	・観光産業におけるデータ活用
1月号	・2018年度・2019年度 北陸の経済見通し
2月号	・経営者の景気見通し（北陸のBSI）
	・CEATEC JAPAN2018にみる先端テクノロジー AI活用の方向
3・4月号	・地域資源の活用による地域参加人口増加の可能性
	・CEATEC JAPAN2018にみる先端テクノロジー IoT活用による課題解決

## （2）トップインタビュー

掲載号	テーマ
6月号	<p>・最先端の素材とレーザー加工技術を生かし、世界最高峰の眼鏡や医療機器を提供する ～地球規模の発想で常に新しい夢に挑戦を続け、世界の人々に安心と喜びを提供する～</p> <p>株式会社 シャルマン 代表取締役会長 堀川 馨 氏</p>
9・10月号	<p>・時代やニーズの変化を察知し、知識・技術・情報・ネットワークを駆使したオリジナルサービスを創造する～お客さまにとっての最適を追求する～</p> <p>三谷産業株式会社 代表取締役社長 三谷 忠照 氏</p>
12月号	<p>・地味だけれど、かけがえのない企業でありたい ～期待され、期待に応え、期待を超える！～</p> <p>株式会社 CK サンエツ 代表取締役社長 釣谷 宏之 氏</p>
3・4月号	<p>・限りある土地の可能性を最大限に高め、価値ある空間を創造する ～グループの人材と資金を柔軟に活用し、より強固な連携を実現する～</p> <p>株式会社 スペースバリューホールディングス 代表取締役会長兼社長 CEO 森岡 篤弘 氏</p>

## （3）新春対談

掲載号	テーマ
1月号	<p>人生百年時代の起業</p> <p>エリーパワー株式会社 代表取締役社長 吉田 博一氏</p>

## （4）企業経営に関する調査研究

<チャレンジ>

掲載号	企業名
5月号	株式会社 エコシステム（石川県能美市）
6月号	株式会社 長田工業所（福井県坂井市）

掲 載 号	企 業 名
7月号	株式会社 OZ Links (富山市)
8月号	金沢 彩の庭ホテル (金沢市)
9・10月号	株式会社 金沢エンジニアリングシステムズ (金沢市)
11月号	株式会社 ミヤゲン (福井県敦賀市)
12月号	技研株式会社 (石川県能美市)
1月号	株式会社 ルネッサ (福井県坂井市)
2月号	株式会社 コラリアルチザンジャパン (富山県南砺市)
3・4月号	アルハイテック株式会社 (富山県高岡市)

### <企業紹介>

掲 載 号	企 業 名
5月号	一般財団法人 北陸予防医学協会 (富山県高岡市)
6月号	シェア金沢 社会福祉法人 佛子園 (石川県白山市)
7月号	株式会社 武生製麺 (福井県越前市)
8月号	株式会社 マルチョウ神戸屋 (富山市)
9・10月号	平林印刷株式会社 (福井市)
11月号	日本セック株式会社 (富山県射水市)
12月号	昭北ラミネート工業株式会社 (富山市)
1月号	数馬酒造株式会社 (石川県能登町)
2月号	小野谷機工株式会社 (福井県越前市)
3・4月号	テックワン株式会社 (石川県能美市)

### (5) 受託調査

北陸銀行からの受託調査につきましては、前記のとおり北陸の経済・産業・企業動向などの調査・研究結果を月刊誌「北陸経済研究」により報告いたしました。

その他、国や富山県をはじめとして各自治体、経済・産業の調査研究機関・団体などから次のとおり16件の調査を受託しました。

No.	受託先	事業名
1	中部経済産業局	地域中核企業及びその候補を対象とする IoT 技術習得・活用推進事業
2	富山県	富山のしごと・くらしアピール事業実施業務
3	富山県	新・富山県ものづくり産業未来戦略策定業務
4	富山県	文化芸術創造拠点形成事業、経済波及効果分析調査
5	富山県	ねんりんピック富山 経済波及効果分析調査
6	富山市	平成 30 年度富山市民意識調査業務
7	富山市	ねんりんピック富山 富山市への経済波及効果分析調査
8	高岡市	ねんりんピック富山 高岡市への経済波及効果分析調査
9	射水市	第 2 期射水市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査
10	小矢部市	第 7 次小矢部市総合計画策定支援業務
11	南砺市	南砺市文化芸術創造都市事業開催による経済波及効果調査業務
12	三菱 UFJ リサーチ & コンサル	景気ウォッチャー調査に伴う作業・分析業務 (北陸地域)
13	株式会社北陸銀行	「北陸銀行お客さまアンケート」集計・分析業務
14	株式会社 W TOKYO	東京ガールズコレクション経済波及効果分析調査
15	福井商工会議所	福井県恐竜土産調査
16	カーター記念黒部名水マラソン実行委員会	平成 30 年度黒部名水マラソン開催による経済波及効果の推計業務

#### 4. コンサルティング・講師派遣・研修業務など

##### (1) コンサルティング

「経営相談」には日常的に対応し、実績は 61 件となりました。経済動向、業界動向、民泊、IoT などについて、各種の相談に担当職員が対応しました。とりわけ、モノづくり補助金申請にかかるコンサルティングでは下記の実績をみることができました。

<ものづくり補助金申請業務>

平成 29 年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金申請 2 件、採択 2 件

① ペイントガレージグリーム 久保誠 (富山県立山町)

② 株式会社 キスモ (石川県金沢市)

## (2) 講師派遣

### A. 講演講師派遣

賛助会員企業や団体、地方公共団体から講演講師の派遣依頼があり、役職員が積極的に出向きました。派遣回数は14回となりました。

また、銀行の支店・取引先親睦会が企画した経済講演会への講演講師の派遣を11回行いました。

講演テーマとしては、北陸の経済見通しや第4次産業革命の進展に伴う企業経営への影響、北陸新幹線敦賀延伸により期待される経済効果などのテーマが目立ちました。

### B. 研修講師派遣

富山大学のMBA講座、経済学・経営学講座、大学院のコーポレートファイナンス講座をはじめ、富山県立大学、富山国際大学の講義においても非常勤講師などの派遣依頼を受け、合計43回にわたり講師を務めました。

## (3) 新春講演会の開催

開催日	演題	講師	来場者数
3月19日(火)	中小企業の挑戦 ～第4次産業革命と経済冷戦にどう立ち向かうのか～	中部大学 特任教授 細川 昌彦氏	120名

## (4) IoT活用推進に向けての取り組み

～「IoT活用推進フォーラム」の活動について～

### A. 概要

2017年5月に当研究所を事務局として、IoTに関する手法や先進企業の取り組みなどを習得し、実証実験を実施することを目的とする「IoT活用推進フォーラム」を設立いたしました。

### B. 会員 北陸3県の企業40社（内、石川県4社、福井県1社）

内訳	正会員	32社
	サポーター会員	6社
	賛助会員	2社

### C. 活動内容

<平成30年度総会>

開催日：6月1日（金）

会場：富山県民会館

参加者：33社 52名

<WG（ワーキンググループ）活動>

- ・予知保全・生産管理・在庫管理の3つのWG活動を27回実施。参加企業は延べ194社、参加人数は274人となりました。
- ・実装支援活動として個別企業WG活動を4社に対し、26回実施しました。

<工場見学>

実施日：7月18日（水）

場 所：ジェイ・バス株式会社 加賀市本社工場

参加者：11社 24名

[特記事項]

- ・(一社)IVIがIoT活用の実証実験について優れた取り組みを表彰する「IVI地域アワード2018」において、当フォーラムで実施した実証実験のうち、小松鋼機(株)が 全国で最優秀賞を受賞しました。
- ・当フォーラムとして2年連続の最優秀賞受賞となっております。

<セミナー>

下記のIoT活用セミナーを10回、開催しました。

月日	内容	テーマと講師	参加者
6月1日 (金)	第1回IoT 活用セミナー	<b>【講演①】</b> 「2030年 未来から考えるビジネス」～IoT等 先進技術 を活用して売上を増加させる～ 東邦ビジネスコンサルタント株式会社 代表取締役 粕井 隆氏  <b>【講演②】</b> 「IoT活用による中小製造業のチョコ停の見える化と 改善」 伊豆技研工業株式会社 専務取締役 石川 広樹氏	38社 70名
7月6日 (金)	第2回IoT 活用セミナー	<b>【講演①】</b> 「事業内容の変遷とIT化の経緯、IoTに関する取り組みに ついて」 株式会社由紀精密 取締役営業部長 笠原 真樹氏  <b>【講演②】</b> 「匠の技のデジタル化マニュアル」 ～匠の技のデジタル化を匠の技にすべからず～ 株式会社ニコン 映像事業部生産統括部生産企画課 副主幹 浦野 雅輝氏	19社 30名
8月6日 (月)	第3回IoT 活用セミナー	「ロボット活用に関する疑問にお答えします」 <b>【講演①】</b> 「ロボット活用の基礎知識」 一般社団法人 日本ロボット工業会 客員研究員 高本 治明氏  <b>【講演②】</b> 「ロボット活用の先進事例」 株式会社FA.Regalo 代表取締役 青木 伸輔氏	20社 31名



月日	内容	テーマと講師	参加者
9月7日 (金)	第4回 IoT 活用セミナー	<b>【講演①】</b> 「今野製作所のIoT活用の取組み」 株式会社今野製作所 代表取締役 今野 浩好氏 <b>【講演②】</b> 「Make-up for metal！」 電化被膜工業株式会社 営業品質マネージャー 廣門 伸治氏	10社 13名
9月10日 (月)	第5回 IoT 活用セミナー	<b>【講演】</b> 「設備投資の経済計算とその活用」 株式会社ME マネジメントサービス マネジメントコンサルタント 公認会計士 橋本 賢一氏	15社 18名
11月19日 (月)	第6回 IoT 活用セミナー	<b>【講演】</b> 日本精工の試み 「IoT分析による予知保全拡大」 日本精工株式会社 生産技術センター 知能化技術開発部 副主務 村田 光範氏	20社 29名
1月16日 (水)	第7回 IoT 活用セミナー	<b>【第1回ラズパイ講習会】</b> CKD株式会社 新規事業開発室 プロジェクトリーダー 上岡 洋介氏	12社 16名
1月23日 (水)	第8回 IoT 活用セミナー	<b>【第2回ラズパイ講習会】</b> CKD株式会社 新規事業開発室 プロジェクトリーダー 上岡 洋介氏 森山 晃裕氏	8社 12名
2月13日 (水)	第9回 IoT 活用セミナー	<b>【第3回ラズパイ講習会】</b> CKD株式会社 新規事業開発室 プロジェクトリーダー 上岡 洋介氏 森山 晃裕氏	12社 18名
2月18日 (月)	第10回 IoT 活用セミナー	IoT活用セミナー 「簡単に導入できるIoT活用事例を数多くご紹介します」 <b>【講演①】</b> 東芝テック株式会社中部支社 営業統括部長 坪井 勝則氏 <b>【講演②】</b> 株式会社金沢エンジニアリングシステムズ 製品企画部兼開発部部長 小林 康博氏 <b>【講演③】</b> 北陸コンピュータ・サービス株式会社 営業本部 製造ソリューション推進室 小森 聡氏	19社 32名

## (5) ビジネスセミナーの開催

北経研セミナーは、各企業における人材育成ニーズに対応するため、知識・スキルの習得に役立つと同時に厳選されたカリキュラムで質の高い内容を体系的に提供できるように努めました。2018年度は北陸三県で62回開催し、受講者数は延べ1,319名となりました(2017年度は57回開催し、受講者数は延べ1,266名でした)。

	開催日	タイトル	開催地	受講者数
1	3月29・30日	「働くことの意味」と日常の「基本行動」を重視する	福井	7
2	4月3・4日	「働くことの意味」と日常の「基本行動」を重視する	富山	37
3	4月5・6日	「働くことの意味」と日常の「基本行動」を重視する	金沢	36
4	4月13日	総務担当者の基礎実務	富山	49
5	4月17日	簿記と経理の基礎知識	金沢	15
6	4月18日	接客基礎力養成セミナー	小松	12
7	4月24日	ビジネス文書徹底トレーニング	金沢	16
8	4月27日	営業担当者スキルアップ研修	富山	19
9	5月8日	経営分析の基本を学ぶ	金沢	24
10	5月11日	新任管理職のための基礎力強化セミナー	金沢	9
11	5月15日	徹底習得！職場の「ホウ・レン・ソウ」	福井	14
12	5月17日	甘えを捨てよ！中堅社員	富山	20
13	5月18日	次世代経営者 養成実践セミナー	富山	6
14	5月23日	ロジカルシンキング入門講座	金沢	20
15	6月7日	雑談力養成講座	富山	26
16	6月8日	採用から退職までの法律知識と労働法・労務管理の基礎知識	金沢	18
17	6月13日	中堅女性社員のためのスキルアップセミナー	富山	33
18	6月14日	管理職の基礎・基本	富山	42
19	6月15日	中堅社員に求められる役割とスキル	福井	16
20	6月22日	人事マネジメントの基礎セミナー	金沢	13
21	7月4日	プレゼンテーションの基本	金沢	12
22	7月12日	取締役の責任と義務	富山	27
23	7月18日	女性社員のための「仕事力」養成講座	金沢	36
24	7月19日	チームで成果をあげる管理職によるチーム活性化 7つの具体策	富山	24

	開催日	タイトル	開催地	受講者数
25	7月2日	入門 決算書の読み方	富山	18
26	8月1日	班長の仕事とは何かを学ぶ	富山	42
27	8月3日	経営幹部の役割と重点実務	金沢	23
28	8月1日	ハラスメント発生を防ぐ職場風土づくり	富山	14
29	8月23日	部下育成のためのコミュニケーション術	金沢	17
30	8月24日	部下統率のためのリーダーシップ入門	福井	10
31	9月3日	新入社員フォローアップ研修	富山	22
32	9月4日	新入社員フォローアップ研修(午前のみ)	金沢	24
33	9月5日	営業センス向上セミナー	富山	28
34	9月6日	人材採用と流出防止策	金沢	14
35	9月7日	働き方改革の進め方	富山	28
36	9月11日	課長の役割と仕事術	富山	28
37	9月13日	事務ミスゼロの仕事術	小松	17
38	9月14日	強いチームをつくるリーダーに必要な「5つの力」	富山	39
39	10月5日	新入社員フォローアップ研修(午後のみ、32の補講)	金沢	(24)
40	10月15日	1日で学ぶ 税金の基礎知識	富山	25
41	10月16日	営業の会話力・対話力強化セミナー	金沢	28
42	10月18日	業績をアップする7つのマネジメント技法	富山	10
43	10月24日	はじめての女性管理職	富山	25
44	10月26日	意識行動変革セミナー	金沢	34
45	11月6日	会社を強くするのは管理職のマネジメント力	福井	10
46	11月8日	現場レイアウト改善セミナー	富山	24
47	11月9日	職場の人事諸問題にいかに対応するか	富山	23
48	11月14日	成果を上げる問題解決力	金沢	25
49	11月15日	甘えを捨てよ！中堅社員	金沢	21
50	11月16日	困った社員への効果的な対処法	富山	18
51	11月21日	班長の仕事とは何かを学ぶ	富山	36
52	1月17日	「わかりやすく、簡潔に話す技法」講座	金沢	15
53	1月22日	”報・連・相”スキルアップセミナー	富山	29

	開催日	タイトル	開催地	受講者数
54	1月25日	1日で学ぶ資金繰りの基礎実務	金沢	18
55	1月28日	在庫管理セミナー	富山	20
56	2月7日	消費税引き上げに伴う事前準備と実務対応	富山	14
57	2月13日	期待される若手・中堅社員のための能力強化セミナー	富山	30
58	2月26日	電話応対力向上セミナー	富山	20
59	3月5日	ビジネスマナーを中心とした実践研修	金沢	12
60	3月8日	指導スキルを中心としたOJT実施研修	富山	11
61	3月12日	消費税引き上げに伴う事前準備と実務対応	金沢	10
62	3月15日	「儲かる会社」に変身するための中期経営計画の立て方	福井	6
	計			1,319

#### (6) アグリマルシェの企画・開催

日時 : 10月14日(日) 場所 : 富山駅構内自由通路  
 参加者 : 女性農業者を中心に、6次産業化に取り組む人たち18人  
 内容 : 富山県産の農産物及び加工品の販売により、その魅力を伝えるとともに、6次産業化の推進を図るために企画・開催しました。  
 成果 : 出店者が自分自身で作ったものを、お客さまにアピールし販売、また、出品者同士の交流もみられました。富山市の玄関口・富山駅での開催によって、来街者に対しても、賑わいや富山の魅力を提供できました。

#### (7) 委員等への就任

当研究所の役職員は国の機関や富山県はじめ県内各自治体などからの要請により、合計24の委員会などに委員を委嘱され、合計35回の会議に出席し、地域発展に向けての意見・提言を行いました。

## 5. 広 報

### (1) 月刊誌「北陸経済研究」

月刊誌「北陸経済研究」は毎月4,800部を定期的に刊行しており、2019年2月25日に発行しました3・4月合併号で471号となります。

### (2) 年刊「北陸三県会社要覧」

- ・2019年版は2,219社(前年2,212社に対し7社増加)を収録し、1月に4,000部(前年同)を発行いたしました。
- ・会員アンケートを実施し、要望に応じて掲載各社のURLから各社HPへリンクする機能を備えた北陸三県会社要覧のデジタルブック化に取り組みました(4月1日から、デジタルブック閲覧可能に)。

- ・掲載用原稿入力にあつては、入力企業の利便性に配慮したWEBシステムの利用が654社（前年605社に対し、49社増加）となりました。

### （3）北陸経済研究叢書02の発刊

「データで振り返る北陸の50年～経済・産業・インフラから女性活躍まで～」を2018年6月に発刊しました。

### （4）マスコミへの対応

- ・月刊誌「北陸経済研究」を発行の都度、地元紙をはじめ各新聞記者との懇談会を催し、調査担当者がテーマに応じて研究結果を発表いたしました。
- ・北日本新聞経済面に隔週で「教えて！富山けいざい」として経済用語の解説記事を掲載しております。今年度は、「EV」「AR」「人手不足」「景気循環」「燃料電池自動車」「クラウドファンディング」「セルロースナノファイバー」「3Dプリンター」「民泊新法」「トランクルーム」「健康経営」「ウオークビズ」「エネルギー基本計画」「個人型確定拠出年金(iDeCo)」「QRコード決済」「スマート農業」「eスポーツ」を掲載。これらを合わせ当研究所に関する記事が47回掲載されました。
- ・マスコミからの取材・質問には68回対応し、それらの内容は業界誌などに掲載されています。ちなみに、日経テレコンの検索結果にみる当研究所の報道件数は170件となっています。

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
件数	92	104	106	133	132	162	170

テレビ、ラジオへの出演依頼については31回対応いたしました。北陸新幹線の開業効果、キャッシュレス決済、食品値上げなどについての出演依頼がありました。

### （5）情報提供活動

ホームページによるセミナーや講演会案内など、内容の充実に努めるとともに更新を逐次実施し、よりいっそうスピーディーな情報提供とサービス向上に努めました。

### （6）図書

当研究所の所蔵図書数は26,843冊となっています。研究所での利用のみならず、賛助会員などの方の利用にも供されております。

また北陸銀行所蔵の企業年史を当研究所に移管し、既存の年史と合わせ計702冊のリストを北陸銀行本支店に公開し利用に供する体制も整えました。

以上

## 2018年度事業報告附属明細書

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。